

安全・環境レポート

2024

対象期間：2023年4月～2024年3月



Konishi chemical
~ We are Koniranger! ~

もくじ

安全・環境マネジメント

- 3 会社概要・マネジメントシステム体制
- 4 CSR方針
- 5 マテリアルフロー
- 6 各種データ
- 7 環境法令の順守状況

安全衛生活動トピックス

- 9 健康経営宣言・緊急訓練
- 10 新型コロナウイルス対策

環境保全活動トピックス

- 11 SDGsの取り組み
- 13 環境改善活動
- 14 地域社会とのかかわり
- 15 教育支援活動

編集方針

- ・対象期間 2023年4月～2024年3月（2023年度）
- ・参照したガイドライン 環境省 環境報告書の記載事項等の手引き（第3版）2014年5月
- ・発行年月 2024年12月（次回発行予定 2025年11月）

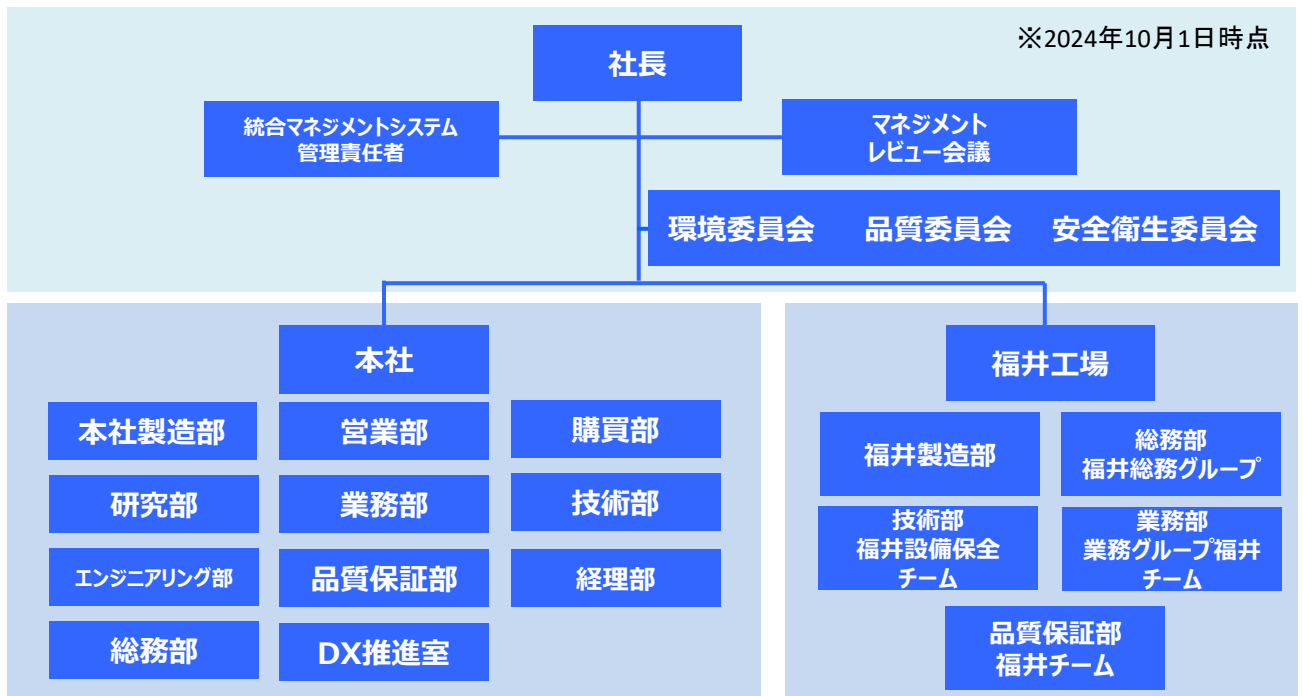
表紙写真：AI コニレンジャー

会社概要

会社名	小西化学工業株式会社
本社所在地	〒641-0007 和歌山県和歌山市小雑賀3丁目4番77号 TEL：073-425-0331（代）
福井工場所在地	〒913-0038 福井県坂井市三国町テクノポート2丁目8-2 TEL：0776-43-0331（代）
創立	1962年（昭和37年9月）
売上	59億円（2024年3月期）
代表者	代表取締役社長 小西 弘矩
従業員数	130名（2024年3月末時点）
事業内容	情報電子材料、機能性樹脂、感熱紙用顕色剤、ポリマー改質剤、 エポキシ樹脂硬化剤、ケイ素系有機・無機ハイブリット材料等、 機能性化学品の開発・製造・販売及び受託製造

環境マネジメントシステム体制

本社では2002年5月に、福井では2014年11月に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。また、CSR方針を2011年に制定し、環境への負荷に配慮し省資源、省エネルギー活動を推進しています。



CSR方針

小西化学は事業活動を通じ、企業の社会的責任を果たし、持続可能な社会の実現に貢献し、同時に会社を永続させるため、CSR活動を実施してまいります。

1

事業活動において適用される国内外の法令及びその他の要求事項を順守してまいります。

2

無事故、無災害の継続とリスクマネジメントにより地域社会と社員の安全を確保します。

3

製品の開発、生産、廃棄にいたるライフサイクルの全てのステージにおいて環境への負荷に配慮し、汚染、漏洩、流出の防止に努めるとともに、化学物質の適正管理を行います。

4

製品安全を進め、品質管理の徹底と管理レベルの向上により、お客様から信頼され、愛される製品を作ります。

5

省資源・省エネルギー活動を積極的に推進し、CO₂の排出削減、地球温暖化の防止に努めます。

6

社員の多様性・人権を尊重し、生き生きと働きやすい環境の確保に努めるとともに、業務を通じ自己実現を援助します。また、児童労働や強制労働を排除します。

マテリアルフロー

本社工場・福井工場を対象に、事業活動におけるINPUT（エネルギー、水資源、原材料）、OUTPUT（大気排出、排水、廃棄物、製品）のデータを集計し把握しています。

【2023年度環境負荷全体像：本社・福井工場合算】



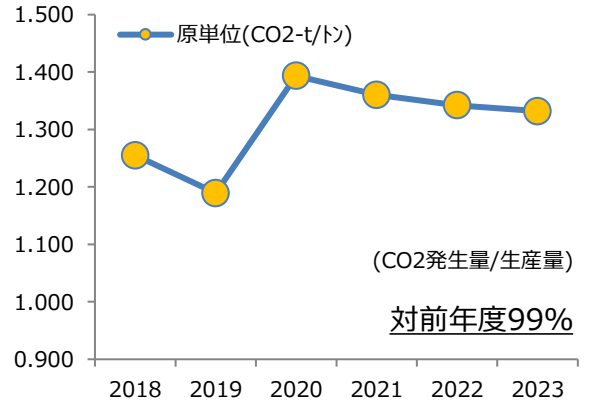
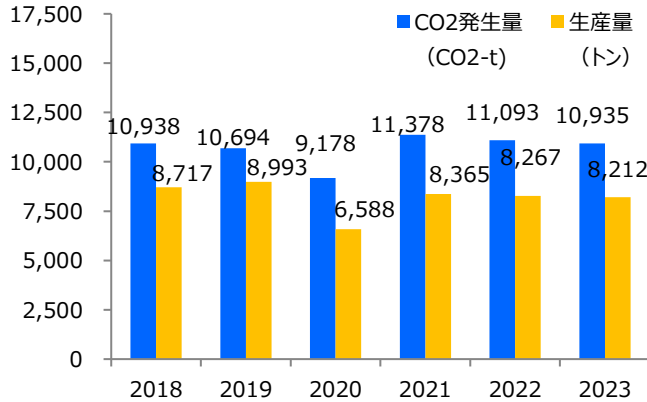
■各種データ（2018年度～2023年度）

CO2発生量については、コロナ影響を大きく受けた'20年度と比較すると生産量に回復基調が見られたこともあり、原単位は改善傾向にあります。但し、主力製品減という市況環境変化、福井工場増設&主力製品の拠点分散といった生産環境の変化といった影響が大きく、2018、19年と比較すると原単位は高くなっています。

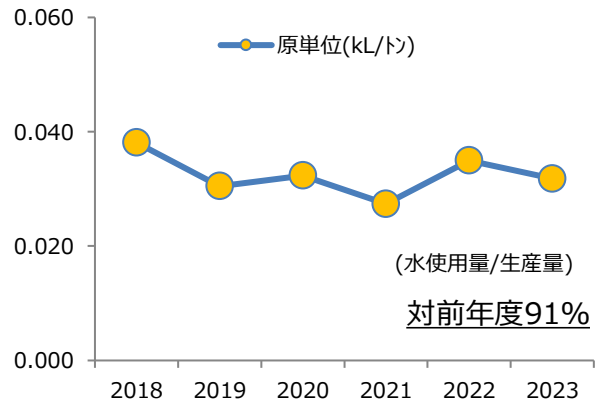
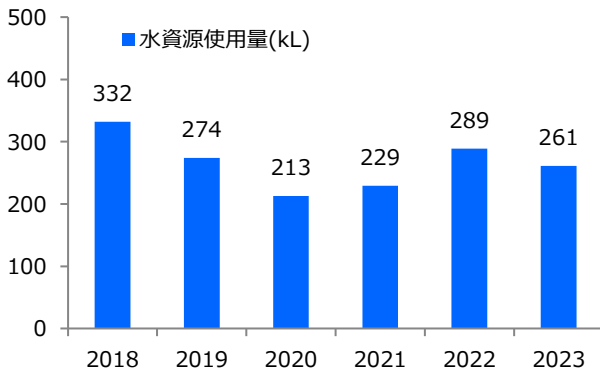


生産量・CO2発生量

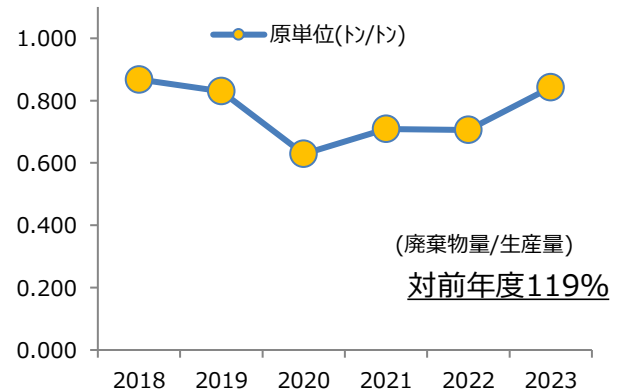
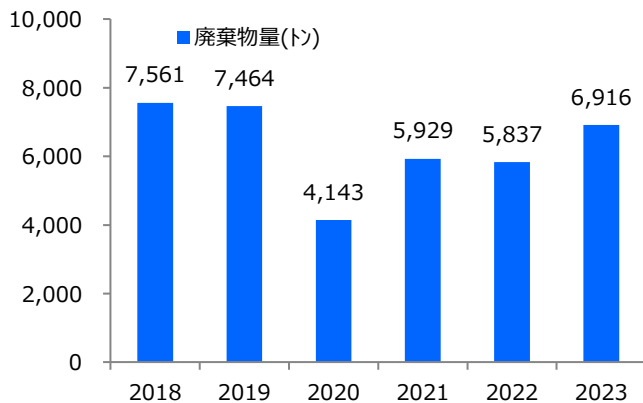
※CO2は自社で使用した燃料および購入した電力由来分



水資源使用量



廃棄物量



環境関連法令順守への取り組み

小西化学では、環境影響に配慮することが企業の重要な責務であると考え、各規制値に対し監視・測定を実施するとともに半期に一度順守評価を行い、環境関連法令の順守に努めています。

大気汚染防止

法規制に基づき蒸気ボイラー・熱媒ボイラーから排出されるばい煙の監視・測定を行い、排出基準値内であることを監視しています。

水質汚濁防止

定期的に工場集合排水をサンプリングし、COD・BODを測定し、排出基準値内であることを監視しています。

騒音振動防止

本社工場では毎月、工場内の10地点を騒音計を用いて測定し、継続的にモニタリングしています。また、本社工場、福井工場共に年2回、敷地境界線付近で外部分析機関による騒音測定を行っています。

悪臭防止

悪臭防止に関する法令順守のため、適切な対策と継続的モニタリングを実施しています。定期的に工場内及び近隣区域をパトロールし、臭気が無いか確認しています。

項目	測定調査項目	調査範囲	調査点	調査頻度	事業所	評価者
大気	ばい煙測定	蒸気ボイラー・ 熱媒ボイラー	2地点	1回/3年	本社工場	外部機関
			6地点	毎年2回	福井工場	外部機関
水質	COD・BOD	工場内集合排水	1地点	毎月2回	本社工場	外部機関
				毎月1回	福井工場	外部機関
騒音	工場内騒音	工場内	10地点	毎月	本社工場	自社
		敷地境界線付近	4地点	毎年2回	本社工場	外部機関
		敷地境界線付近	1地点	毎年4回	福井工場	外部機関
悪臭	臭気	工場内及び近隣区域	8地点	毎日2回	本社工場	自社
		排ガス除害設備	1地点	毎年4回	福井工場	外部機関
		敷地境界線付近	1地点	毎年4回		外部機関

廃棄物管理

電子マニフェスト※を導入し確実な管理を行っています。
又、定期的に廃棄物処理業者の処理施設を訪問し、法令の順守状況などを確認しています。



ワンポイントレッスン

マニフェスト制度とは、廃棄物の排出事業者が収集運搬業者、処分業者に委託した産業廃棄物の処理の流れを自ら把握し、不法投棄の防止など適正な処理を確保することを目的とした制度です。マニフェストを使用しないと罰則の対象となります。

電子マニフェストは、マニフェスト情報を電子化し、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センター（公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター）を介したネットワークでやり取りする仕組みです。

この排出、収集、処分の3者が常にマニフェスト情報を閲覧・監視することにより、不適切なマニフェストの登録・報告を防止、法令の順守につながります。

化学物質管理

PRTR法に基づき、指定された物質の排出量、移動量の届出を行っています。

定期訓練

環境上の事故が発生した際の被害を最小限に抑えるため、対応手順を定め定期的に訓練を行っています。

■ 緊急時硫酸スクラバー運転訓練

発煙硫酸関連設備に不具合が生じ、発煙硫酸ガスが発生した場合に発生したガスを速やかに吸引、硫酸スクラバーにて処理する訓練



健康経営宣言

当社では、2017年8月「健康経営 優良法人2017」に認定され、社員の健康管理や健康増進を更に積極的に支援する小西化学工業株式会社「健康経営宣言」を発表しました。社員の健康に対して様々な活動に取り組んでおり、2023年も認定され7年連続の受賞となりました。また、2023年は2021年以来2回目となるブライツ500※での認定となりました。

小西化学工業株式会社『健康経営』宣言

小西化学工業株式会社は、社員の健康を重要な経営資源の一つと位置づけ、社員が健康で個々の能力や個性を発揮することにより、キラリと光る明るく元気な活力溢れる会社にしていきたいと考えます。

よってここに社員の健康管理や健康増進を更に積極的に支援することを通じ、『健康経営』への取り組みを宣言します。

社員の皆さんも、健康がご自身のみならず、ご家族や会社の基盤であることを理解し、自らの健康を管理し増進に取り組むことで、健康経営に参画してください。



2017年8月21日
小西化学工業株式会社
代表取締役社長小西弘矩

※ブライツ500 中小規模法人部門の中から優良な上位500社に与えられる称号

健康増進に向けての取り組み

■スポーツエールカンパニー



社内で気軽にスポーツが楽しめる環境の整備や、アプリを活用したウォーキングイベントを企画したりと、楽しみながら健康増進が図れるよう各種取り組みを工夫しながら実施しています。

こうした取り組みが評価され「スポーツエールカンパニー2023」に認定頂きました。

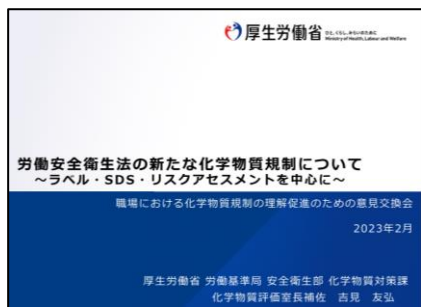


労働安全衛生に関する勉強会

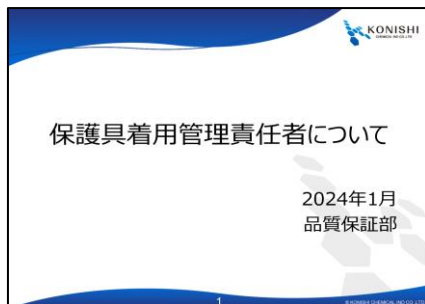
化学物質を取扱、製造している企業として従業員及びユーザーを守るためにも正しい化学物質の取扱方法を身に付ける必要があり、その学習の一環として安全衛生法関連の各種勉強会を開催しました。

特に2023年は労働安全衛生法の大幅な改正がありました。一人ひとりが自覚を持ち、社会的責任を果たしていくためにもこうした法律の改正点や変化点についても、学習の機会を設け取り組んでいます。

法改正内容勉強会



保護具着用管理責任者勉強会



化学物質リスクアセスメント勉強会



BCP（レジリエンス認証取得）

当社の立地環境も鑑み、大規模災害への備えとして2019年より定期的な各部合同でのミーティングを重ね、BCPを策定しています。

また、各種シミュレーションを通じた課題抽出と備えの重要性についての「気づき」を得るためのBCP訓練を毎年開催し各々のレベルアップに繋げています。

こうした取り組みの一環として、「レジリエンス認証」の取得に取り組み、2024年3月に認証を受けることが出来ました。



SDGsの取り組み

当社では“キラリ! KONISHI SDGs宣言”の下、環境委員会を中心に、全社を挙げて積極的にSDGs活動を推進しています。

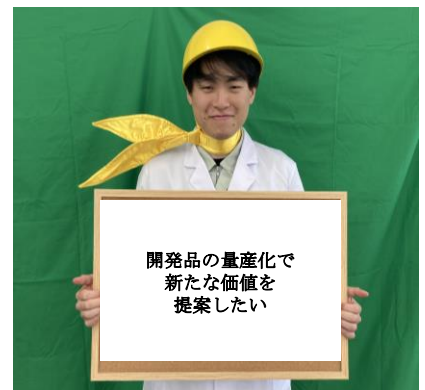
SDGsとは？

国際社会が取り組むべき社会的課題として、2015年9月に「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連総会で採択されました。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。



■ 全社SDGs宣言の再実施

2018年の“キラリ! KONISHI SDGs宣言”から早くも5年が経過しました。その間に、本社工場は新開発プラントの完成・増強、福井工場はM3プラントやM1Dプラントの完成といったハード面が進化、また、全社をあげた“HEROプロジェクト”や“QMS再強化プロジェクト”などソフト面の改革も進んできました。新しいことへのチャレンジや失敗を通じて「自分の仕事がお客様に、そして更にその先に繋がっている」をテーマに、全社員にSDGs宣言してもらいました。



自身の仕事と社会の繋がりを見つめなおす契機となりました。

■和歌山市SDGs推進ネットワーク「第一回わかやまSDGsミーティング」への参加

2021年度から参加している和歌山市SDGs推進ネットワークはコロナ渦の関係で、webミーティングが続いていましたが、今年度初めて会員同士の対面ミーティングが開催されました。

当日は、35名の異業種メンバーが集まり、各社の活動紹介や、今後のコラボレーションの可能性について真剣に議論が交わされました。各社のSDGs活動推進における苦労や、工夫されている点が共有され、良い刺激を受けることが出来ました。

次回以降もこのような対面ミーティングに積極的に参加していきたいと考えています。

■環境貢献製品(S-PES膜)の継続的な開発活動

当社で開発中のS-PES（スルホン化ポリエーテルスルホン）膜の研究が、令和5年度のGo-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）に採択されました。

S-PESの用途開発として、これまで水処理膜やイオン交換膜(電解質膜)への適用検討を続けており、2020年度～2021年度に取り組んだ「NEDO先導研究プログラム/新技術先導研究プログラム」で、レドックスフロー電池向け電解質膜として、性能を大幅に向上させることに成功しました。

今回採択されたGo-Tech事業で、更なるS-PES膜の高性能化に挑戦します。



製品CFP把握への取り組み

当社が生産する各種製品群のCFP（Carbon Footprint of Product）を把握するため「LCA活用推進コンソーシアム」に加入、情報収集を進め主力製品であるDHDPSやエポキシ等、一部製品のScope1～3のCFP（Cradle - to - Gate）を算出しています。

今後、他の製品にも展開していきたいと考えています。



出典：グリーン・バリューチェーンプラットフォーム（環境省）

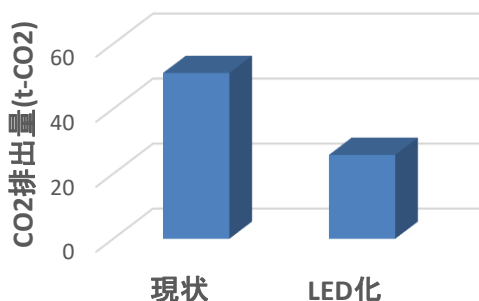
■ CO2削減検討（工場照明LED化）

現在、工場の照明は一部LED化されていますが、大部分は蛍光灯となっています。蛍光灯の環境負荷問題に加え、省エネによる二酸化炭素排出量削減を進めていくべく、これらの蛍光灯のLED照明への置き換え検討を進めています。

LED化により本社工場だけで約25t-CO2/年の二酸化炭素排出削減に繋がる見込みです。

範囲が広いいため段階的に進めていくこととなりますが、計画的に進めていきます。

本社工場LED化効果



■ 排水負荷低減

マルチパーパスで使用する設備は前歴製造品のクロスコンタミを防ぐため品種毎の切替洗浄が必須となります。こうした切替洗浄においても、品質と環境負荷低減を両立させるため各部横断的に検討を行っています。

今期は洗浄に大きく手間が掛かっていた古いFRP槽に着目し検討を実施、微細なクラック部への製品の「浸み込み」が洗浄を困難にしていることを突き止め、FRP槽→SUS槽に更新することとしました。洗浄回数の低減による水使用量の大幅な低減を期待しています。



■ 電気自動車充電設備

電気自動車用充電設備を設置し、社用車トヨタ・プリウスPHVの充電に活用しています。

電気走行距離は20km程度なので遠距離に使用する場合はガソリンとの併用となりますが、近距離は電気走行のみで対応も出来るようになり、CO2排出低減に貢献しています。



当社社用車 トヨタ・プリウスPHV

充電設備

■ 作業服リサイクル

循環型社会への貢献を目指し、使い古した作業服のリサイクル活動を始めました。身近なところから取り組むことで社員の環境意識向上に繋がっていきます。



地域社会とのかかわり

■ 地域支援活動

当社は地域社会の発展を支援するために、和歌山港祭り、三国花火大会、缶サット甲子園和歌山大会等に協賛しました。

新型コロナウイルスの影響で軒並み中止となっておりましたが、復活したイベントには、以前を上回る人々が訪れました。

地域社会とのつながりを強化し、持続可能な未来を共に築くため、私たちは企業としての社会的責任を果たすことを大切にしています。



和歌山 港祭り



三国花火大会

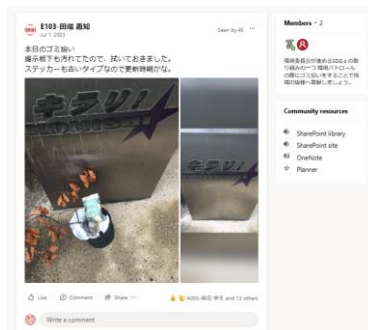


缶サット甲子園和歌山大会

■ 環境パトロールと事業所周辺清掃

ゴミゼロ

地域貢献活動の一環として、本社工場は『530今日もプチSDGs』として毎日の環境パトロールでゴミ拾い運動をしています。拾ったゴミは社内ポータルサイトでシェアし、ごみ拾いの発信・記録し、事業所周辺の臭気や騒音などの異常が無いが、昼夜2回のパトロールを実施しています。



環境パトロール

小西化学のインターンシップでは、研究部若手社員の指導の下、ラボ実験、分析、データ整理、プラント実習、レポート作成など、実際の研究開発業務を3～4日間体験していただきます。全国から多数の応募をいただき、2023年度は4名の学生を受け入れました。



インターンシップの様子

参加者の感想

- 普段、大学の研究室で行う実験の倍以上の規模感での実験を体験でき新鮮であった。また、研究部以外にも様々な方とお話する機会があり、非常にいい経験となった。(大学院修士1年)
- 実験前に危険源を洗い出す事前KYという活動を実施されており、危機意識の高い企業であることを実体験できた。(大学院修士1年)
- 部内、社内でのコミュニケーションが活発な明るい雰囲気会社だと思った。また、工場見学では大型の機械を多数見ることができ、いい体験となった。(高専4年)
- 今回の職場体験にて実際に携わる製品の内容を社員の方が丁寧に説明していただき、わかりやすかった。社員の方はみなさん気さくな方で、コミュニケーションが取りやすかった。(大学院修士1年)

先輩社員のメッセージ

インターンシップに来て頂いた学生さんたちには小西化学の研究部の設備見学・実務体験を通して“小西化学ではたらく”ということを実体験していただきました。加えて、会社全体を知ってもらうために、品質保証部、技術部、営業部の業務についてや、プラントでの半日実習もしていただくことで、小西化学で働くイメージをつかむ非常に有意義な経験になったかと思います。また研究部員との昼食会では、和やかにコミュニケーションをとりながら研究部の雰囲気もしっかりと味わっていただけたかと思います。これらの経験を、今後の研究活動、就職活動に役立てていただくと嬉しく思います。

A Challenge for a Sustainable Future!

今
こ
こ
か
ら

化
学
反
応
を

変
え
る

未
来
を

持続可能な
未来への挑戦!

KONISHI KAGAKU
化学実験
コーレスポンド

小西化学工業
KONISHI CHEMICAL IND. CO., LTD.